

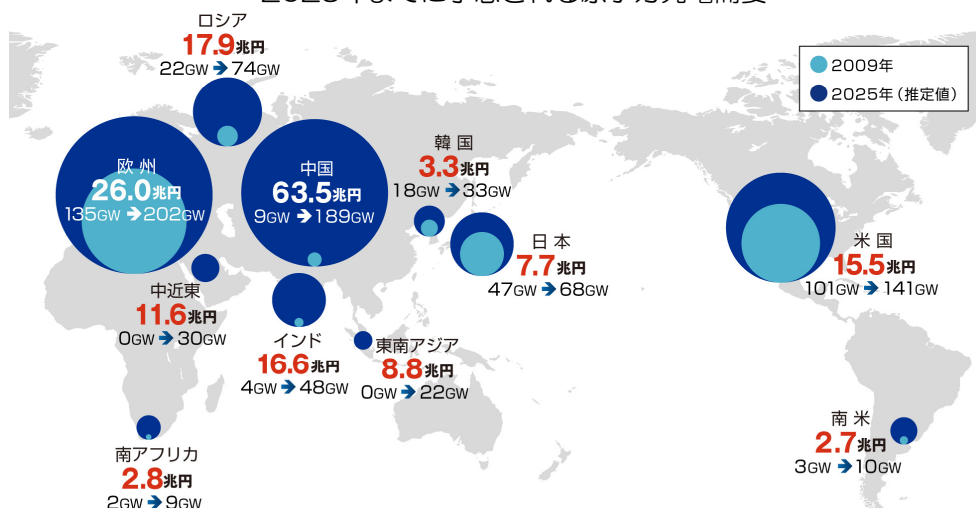
2025年の世界の原発勢力図

原子力発電所（原発）の受注競争で、日本勢が敗退するというニュースが相次ぎました。昨年12月にアラブ首長国連邦（UAE）の原発受注では韓国勢に敗退し、今年2月には東南アジア初の原発となるベトナムでロシア企業への発注が決まりました。日本の新聞では日本勢敗退やその要因が記事として取り上げられがちですが、「新興国を含む世界中で原発利用の動きが加速している」ことが背景にあります。

世界原子力協会によると、原子力発電によって生み出される電力量は2025年には現在の約2.4倍になると予想されています。2025年の中国の原発による発電量は、欧州全体に匹敵する可能性もあります。先進国のほか、ロシアやインド、中近東諸国、東南アジア諸国、南アフリカなどが原発施設の建設を計画しています。

経済成長に伴うエネルギー消費の拡大が見込める新興国では電力供給の増強が重要な課題になっています。さらに地球温暖化問題への関心の高まりから、二酸化炭素（CO2）の排出が少ない原子力発電を見直す動きが世界的に広がっています。新興国の原発建設をめぐり、日本やフランス、ロシア、韓国などのあいだで激しい受注争いが当分続きそうです。

2025年までに予想される原子力発電需要



出所：通商白書2010、世界原子力協会（WNA）2010年1月。単位のGWはギガワット（ギガは10億）。国名の下に数字は2025年までに新たに生じると予想される市場規模の金額で、1GWあたり4,000億円と仮定し、通商産業省が試算した数字。経済、市場等に関する予測は、高い不確実性を伴うものであり、大きく変動する可能性があります。弊社及び予測機関は、予測値の達成を保證するものではありません。

新興国の株価指数を「グローバルマップ」でチェック www.gsam.co.jp

Goldman Sachs

Asset
Management

本資料は、情報提供を目的としてゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社（以下「弊社」といいます。）が作成した資料であり、特定の金融商品の推奨（有価証券の取得の勧誘）を目的とするものではありません。本資料に記載された過去のデータは将来の結果を保證するものではありません。本資料は、弊社において入手した信頼できるとされる資料に基づいて作成されていますが、弊社がその正確性・完全性を保證するものではありません。本資料に記載された市場の見通し等は、本資料作成時点での弊社の見解であり、将来の動向や結果を保證するものではありません。また、将来予告なしに変更する場合もあります。本資料の一部または全部を、(I) 複写、写真複写、あるいはその他のいかなる手段において複製すること、(II) 弊社の書面による許可なく再配布することを禁じます。

© Copyright 2010, The Goldman Sachs Group, Inc. All rights reserved. <審査番号: TK10080075>